

防災対策には優先順位！

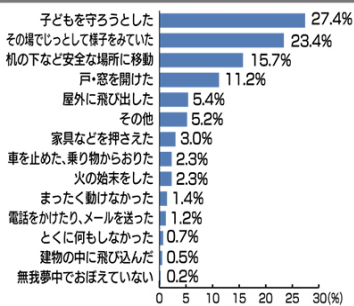
「防災対策をしていますか？」と聞かれて、対策をしていると答えた人の多くは「非常持ち出し袋を用意している」「水や食料を用意している」「ラジオや懐中電灯を用意している」「地震保険に加入している」「災害時の連絡方法を家族で決めている」と答える人が多い。しかし、これらは災害が発生した後の活動に対しての準備であり、「防災＝被害を防ぐ」という図式にはならないのではないのでしょうか？一般の人々が個人で出来る防災の備えには色々なものがあります。しかし、なぜ備えが必要か理解していない人が多いようです。

住宅用火災警報器の義務化で火災警報器を設置し、火災が発生すれば直ちに火を知ることが出来るが、初期消火のための消火器を用意していない人が多い。消火器や消火用具、消火方法のノウハウが無ければ、いくら法律で安全対策をしたとしてもあまり意味のないことになってしまうのです。

家屋の耐震化も同じことがいえます。新たな耐震器具を取り付けて、家のバージョンアップを図ることも大切です。しかし家屋も定期的にメンテナンスを行うことが必要です。「壊れてから修理する」のではなく、修繕のサイクルや長期的に計画を立てて修理し家屋の体力を保持することや、畳を上げて床下の掃除や天井裏の掃除など、普段見えない場所を年に一度は目を通すこと等も大切な耐震措置の一環ではないのでしょうか。

ここでよく考えてみましょう。本当にあなたやあなたの家族にとって何が一番重要な防災対策なののでしょうか？決して皆さんの準備している防災対策を否定するものではありません。

地震発生直後、とっさにとった行動は？



防災・減災対策はすべてを関連づけて想定することが大切だということなのです。もちろん水や食料を大量に準備することも大切なかもしれませんが、でも、いくらペットボトルの水を段ボール箱で箱買いして大量に用意していても、地震の揺れで段ボールが倒れ、下敷きになり死んでしまったのでは何の意味もないということなのです。備えるためには、すべて関連づけられた想定のもとで、結末は「死なない」で締めくくらなければならないのです。どうもその締めくくりが定義されていないために「防災対策」が曖昧な活動となっているようです。

阪神・淡路大震災では、亡くなった方のほとんどは建物の倒壊・家具の転倒・脱出不可で火災から逃げ出せませんでした。実際には建物さえ倒壊しなければ、延焼火災の発生数は大幅に減少するといわれています。

倒壊しなければ出火しても初期消火がしやすいということなのです。火は小さいうちなら初期消火で簡単に消すことが出来ます。しかし、倒壊した建物から出火すると素人が消火器等を使用しての消火は、ほぼ不可能になります。阪神・淡路大震災の時は、消火器で消せるタイミングといわれる「初期消火」を、担当するはずのその家人が家屋の倒壊で下敷きになったことで、近隣の人々が消火活動をすることよりも、下敷きとなった人の救出を優先せざるを得なかったという事実があるのです。また倒壊家屋に阻まれて、市民も消防隊も現場に近づくことが容易ではなかったことなどが被害を拡大させたともいえるのです。そう考えれば、耐震化や防火対策の必要性が判ってくるのです。

東日本大震災ではどうでしょう。大地震が発生すれば大津波が来ると判っていたはずなのに、多くの人が津波で命を落としてしまいました。地震が発生しても、毎度のこと『たいした津波が来ないだろう』と間違った思い込みで避難をしなかった人が、避難を試みたが間に合わなかった。また、防災無線などで津波が襲ってくることを知り、車で避難を始めた人が交通渋滞に巻き込まれ、津波に襲われ亡くなりました。しかし津波は来るものと信じて、高台に避難して命が救われた人が多いのも事実なのです。助かった人たちは「大地震＝大津波」だから「大地震＝逃げる」となり、なぜ逃げなければならないかを理解していたでしょう。それは、日々の生活の中に防災アンテナを張る生活をするということなのです。

結論として防災対策の優先順位は、「**死なない対策を最優先に考え実行すること**」なのです。災害に襲われた瞬間に「生き残る対策」が必要であり、それぞれが「防災減災の基本」なのです。まずは家を壊さない、家具を倒さない、出火させない等です。もし不幸にも壊れ、倒れ、出火しても「死なない」ことが最も重要なのです。死んでしまえば、準備していた食料や水も全く無意味になってしまうのです。

防災対策は、あなたやあなたの家族が災害の瞬間に「死なない・生き残る対策」を最優先で考えよう！

**あなたは「助ける側」それとも「助けられる側」
いったい誰に助けてもらおうの？
あなたの大切な人を守るのは「あなたしかいない」**

「死なない・生き残る対策」は各家庭・個人の生活習慣・生活環境で違います。あなたの家族が生き残るために是非「**町内チャンピオンマップ**」に登録し、あなたの防災スキルをアップしましょう。

町内チャンピオンマップに登録することは、他人を守るために登録するものではありません。「あなたやあなたの大切な人の命を守るため」の登録です！